4　ステアリング

変更概要 …… 4 － 2
機能点検 …… 4 － 2
準備品 …… 4 － 2
油圧点検 …… 4 － 2

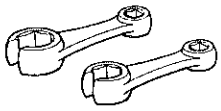
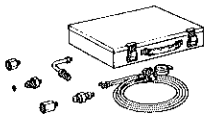
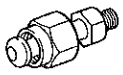
無断複製禁止

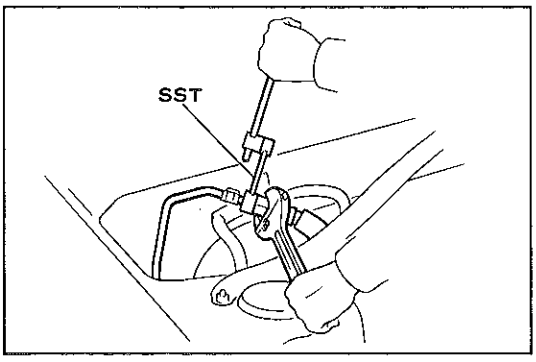
変更概要

トヨタ　セリカ修理書（品番62277，昭和60年８月発行）に以下の項目を追加します。
1　4S－Fi　エンジン用ベーン　ポンプの油圧点検

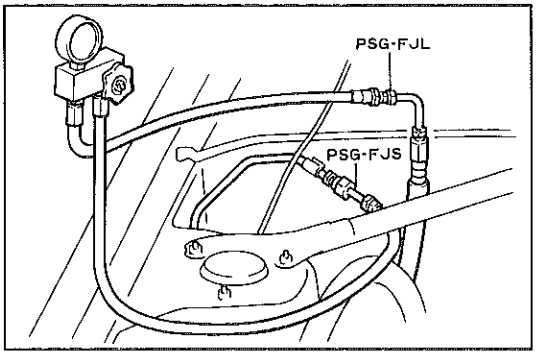
機能点検

準　備　品

SST		09631-22020	レンチ　セット，パワー　ステアリング　ホース　ナット	プレッシャ　フィード　チューブ脱着用
計器		(株)バンザイ扱い PSG-4TB (PSG-3TB)	ゲージ，パワー　ステアリング　プレッシャ	
		PSG-FJL	アタッチメント	ベーン　ポンプ油圧点検用
		PSG-FJS	アタッチメント	ベーン　ポンプ油圧点検用
	温度計			パワー　ステアリング　フルード温度測定用
油脂その他	キャツスル　パワー　ステアリング　フルード			フルード補充用



D6717



D6719

油圧点検

1　プレッシャ　フィード　チューブ切り離し

(1) SSTを使用して，プレッシャ　フィード　チューブのジョイント部を切り離す。

ＳＳＴ　09631-22020

2　プレッシャ　ゲージ取り付け

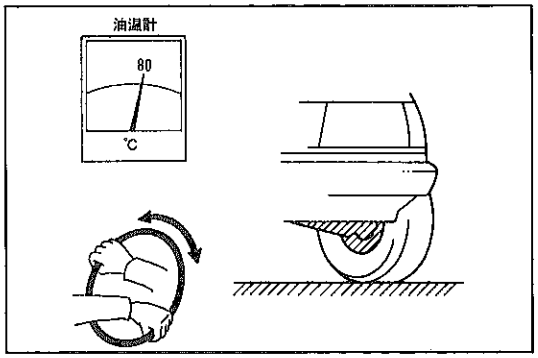
(1) プレッシャ　ゲージのゲージ側をベーン　ポンプ側に，バルブ側をステアリング　ギヤ側に取り付ける。

PSG－FJS（プレッシャ　フィード　チューブ側）

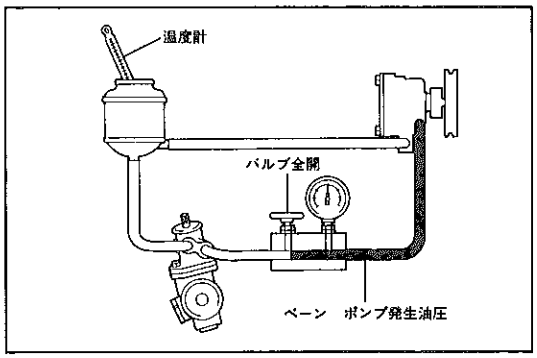
PSG－FJL（ベーン　ポンプ側）

3　エア抜き

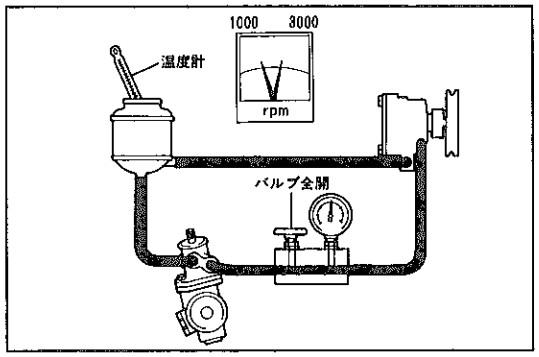
無断複製禁止



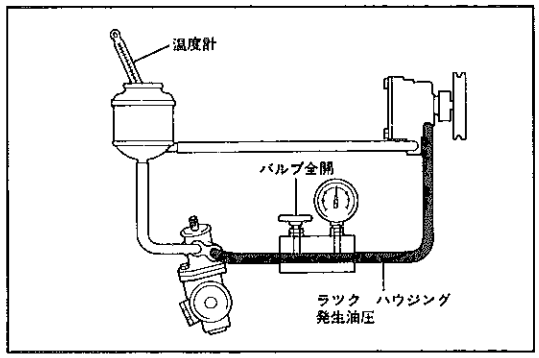
B2329



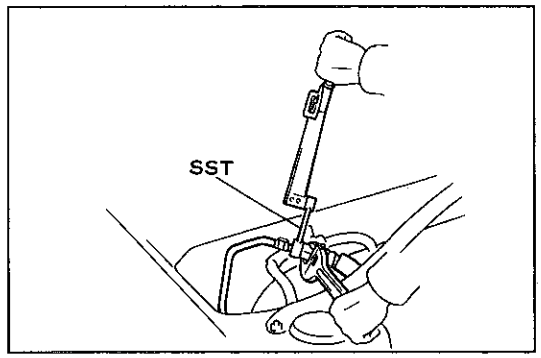
E6043



E6045



E6044



D6763

4　ベーン　ポンプ発生油圧点検

(1) オイル　リザーバに油温測定用の温度計を挿入する。

(2) 油温を測定する。

基準値　75～85℃

〈参考〉　基準値以下の場合は据え切りを数回行つて温度を上げる。

(3) アイドル回転でプレツシヤ　ゲージのバルブを全閉にし，ベーン　ポンプの発生油圧を測定する。

基準値　65～70kg/cm²

注意　・10秒以上バルブを閉じない。

・油温が上がりすぎないようにする。

5　無負荷時圧力差点検

(1) プレツシヤ　ゲージのバルブを全開にする。

(2) エンジン回転数1000rpmと3000rpmで油圧を測定し，その差を求める。

基準値　5 kg/cm²以内

〈参考〉　基準値以外の場合はベーン　ポンプのフロー　コントロール　バルブを点検する。

6　ステアリング　ギヤ　ハウジング発生油圧点検

(1) アイドル回転でプレツシヤ　ゲージのバルブを全開にする。

(2) ステアリング　ホイールを左右いずれかにいつぱい切り，保持した状態で油圧を測定する。

基準値　65～70kg/cm²

〈参考〉　基準値以外の場合はコントロール　バルブ，シリンダ内でのフルード漏れが考えられる。

7　プレツシヤ　ゲージ取りはずし

8　プレツシヤ　フイード　チユーブ接続

(1) SSTとトルク　レンチ（460F）を使用して，トルク　レンチの指示が下記になるようにプレツシヤ　フイード　チユーブを接続する。

ＳＳＴ　09631-22020

T=360kg･cm

9　フルード注入

10　エア抜き

11　フルード漏れ点検

12　フルード　レベル点検

無断複製禁止

MEMO

無断複製禁止